
無線受信機 REC-1650
オプション追加機能

受信エラー警告機能

1. 概 要

本機能は、アナログ無線受信機REC-1650のオプション追加機能の1つで、00仕様を始め、全てのアナログ無線受信機REC-1650の仕様に適用する事ができるソフトウェア機能です。

同一チャンネルで使用している送信機TRM-1650からの電波が途絶えた場合に、受信機のLEDランプ（青）を高速点滅させ使用者に受信エラーを知らせます。

2. 動作要件

- ・動作開始条件 : 電波未受信
- ・点滅開始時間 : 電波未受信から1秒後
- ・動作停止条件 : 電波受信
- ・点滅停止時間 : 電波受信直後

3. 使 い 方

基本的な使い方は標準のアナログ無線受信機REC-1650と同じです。まず、お使いの送信機TRM-1650とチャンネル（1chもしくは2ch）が一致している事を確認し、電源を入れてください。この時、送信機の電源が入っていなければ本機能が働いて受信機のLEDランプが高速点滅します。送信機の電源を入れ、電波を受信すると直ちにLEDランプが点灯に変わります。

また、送受信機間が受信可能距離を超えた場合も本機能が働きます。送受信機を受信可能距離まで近づけてお使いください。

4. 注意事項

- ・LEDランプがゆっくりと（低速）点滅している場合は、本機能ではなく電源電圧低下警告機能が働いています。電源電圧をDC 4.5～13.5Vに復帰させてください。本機能と電源電圧低下警告機能では、本機能が優先して働きますのでご注意ください。
- ・2台の送受信機を同時にお使いになる場合、正しくch設定を切り替えていたとしてもそれぞれの距離が10m以上離れていなければ、電波が干渉する場合があります。干渉が起きると、本機能が働く場合があります。
- ・本機能の有無にかかわらず、受信エラーの場合は受信機のアナログ出力は0V一定となります。